

令和6年度 学校評価書

幼稚園名： 焼津市立大井川西幼稚園

幼稚園においては学校教育法及び学校教育法施行規則により学校運営の状況について評価を行い、その結果を公表することが義務づけられています。つきましては、本年度実施した保護者アンケート及び教諭自己評価をもとに作成した学校評価書を公表します。

＜評価方法＞

- 下記項目による保護者アンケート及び教諭自己評価を実施し、回答を点数化したのち、その平均点により総合評価を判定しました。
- ※点数は左記のとおり＜A…そう思う（4点）／B…どちらかといえばそう思う（3点）／C…どちらかといえばそう思わない（2点）／D…そう思わない（1点）＞
- 項目1～20は保護者及び教諭が、21～45は教諭のみが回答しました。

No.	項目	平均点	
保護者・教諭 同一項目	園児の状況について	1 幼稚園に通うことを楽しみにしている。	3.7 / 4
		2 安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる。	
		3 友達と一緒に遊び、友達と共に過ごすことを楽しんでいる。	
		4 遊びや集団生活に必要な『きまり』があることを知り、守ろうとしている。	
		5 様々な物事に興味、関心を示し、知的好奇心、思考力、感動する心が育ってきている。	
		6 自ら、好きな遊びを見つけて遊んでいる。	
		7 思いやりの気持ちや我慢する気持ちが育ってきている。	
		8 家族や幼稚園職員に挨拶をしている。	
		9 体を動かすことが好きになり、体力がついてきている。	
		10 園目標「明るく、優しく、元気な子」に近づいてきている。	
応保に護つ者へへの対	に安つ全い対策	11 幼稚園は子どもの成長の状況を保護者に伝えている。	3.8 / 4
		12 幼稚園は保護者が子どもの成長に気づくための機会（参観日等）を作っている。	
		13 幼稚園は子育ての悩みや相談に、丁寧に対応している。	
		14 幼稚園は保護者同士が親しく交流できる場となっている。	
に安つ全い対策	に安つ全い対策	15 幼稚園は保育室、遊戯室、園庭等において園児が安全に過ごせるようにしている。	3.7 / 4
		16 幼稚園は安全対策について園児及び保護者に知らせている。	
		17 幼稚園は地震や火災等の災害時の対応を明確にし、訓練等により園児が安全に避難できるようにしている。	
教諭項目	教育理念・保育観について	18 子ども一人一人の人権を尊重し、それぞれの長所を把握している。	3.9 / 4
		19 教育要領に基づき子どもを保育し、適当な環境を与え、心身の発達を助長するよう努めている。	
		20 子どもの個々の発達段階に応じて、基本的な生活習慣を定着させるよう努めている。	
		21 保育の考え方について保護者と相違があった場合、その保護者の状況や考え方を受けとめたくうえで説明するよう努めている。	
		22 個々の家庭環境が違うことを考慮したうえで、その子どもに適切な保育を考え、行っている。	
		23 幼稚園の教育は子どもの生涯にわたる人格形成の基礎を培う大切な役割を担っていることを認識している。	
		24 子どもの状況に合わせ、人的・物的な工夫をもって環境の構成を行っている。	
		25 子どもが思い切り遊ぶことができるように、子どもと一緒に体を動かしている。	
		26 一人一人の子どもに目を配っていたかを振り返り、自身の保育の課題を見つけている。	
		27 子どもが安心して自分の気持ちを伝えられるよう、子どもとの信頼関係を築く努力をしている。	
		28 時節に合った掲示物やコーナーによる室内環境作りに努めている。	
		29 子どもが快適に過ごせるよう保育室内を清潔に保っている。	
		30 子どもが自発的に保育室内の環境を整える（遊び用具や掃除用具の片付け等）ことを促す工夫をしている。	
		31 時間や提出物の期限を守っている。	
32 明日の保育に向け環境、教材等の用意をしている。			
環指助導に計つ画、いて週案、幼児理解、環境	環指助導に計つ画、いて週案、幼児理解、環境	33 幼稚園教育要領及び自園教育課程を基に、実態に合わせた指導計画を作成している。	3.9 / 4
		34 子ども一人一人の実態（発達の状況や興味の対象等）を把握したうえで指導計画、週案を作成している。	
		35 子どもの意欲を誘うよう十分工夫した環境構成がされた週案を作成している。	
		36 支援を要する子どもに対し、その子どもに適した環境を準備し、具体的な対応をしている。	
		37 補助教諭がいる場合、両者の役割や子どもへの援助の方法等をよく話し合い、計画を立てて保育を進めている。	
		38 指導計画、週案と実際の子どもの状況、興味、関心が合っているか、という観点で自身の保育を評価している。	
		39 『園の教育理念、方針、目標』『自身の指導計画・週案の内容やねらい』を保護者が理解できるように説明することができる。	
		40 日々の保育が適切であったか判断し、適切でなかったと思われる点については、改善に向けた保育を計画し、実践している。	
		41 園長及び副園長・主任教諭は自身の立場を自覚し、他の職員の手本となるよう努めている。	
		42 園長及び副園長・主任教諭は園の運営についてお互いによく協力し、行っている。	

総合平均点数	総合評価（評価項目の達成及び取組状況）
4～3.1	A…十分達成されている
3～2.1	B…達成されている
2～1.1	C…取り組まれているが、成果が十分でない
1～0	D…取組が不十分である

総合評価	総合平均点数
A	3.8 / 4

<本年度の幼稚園運営の振り返り>

・総合評価を受けての所感

総合評価Aをいただき嬉しく思います。「先生やお友達が大好きで幼稚園に楽しく通えています。」「幼稚園での出来事を自宅でもたくさん話してくれて楽しい様子が伝わっています。」「どの先生も子供の何気ない話を聞かせてくれて園全体で見えていただけているのだと感じます。」という回答から、保護者の皆様が職員を信頼してお子様を預けてくださり、家庭と幼稚園がつながっていることがわかりました。これからも、子供たちの日々の成長と一緒に喜び合い、家庭と幼稚園が子供たちにとって安心できる大切な場所であるようにしていきたいと思います。園目標「明るく、優しく、元気な子」に向かって、みんなが幼稚園で元気に過ごせるように、子供たちの成長を支えていきたいと思っています。

・本年度努力した点、改善した点

子供たちが夢中になって「楽しい」「やってみたい」と繰り返し遊んだり、挑戦したりできるように、目で見てわかる工夫をしました。遊びの様子をビデオ撮影してテレビに映して振り返ったり、ボードと子供たちの顔写真を各クラスに用意して「私はここでこんな遊びをしたよ。」と明日の遊びを相談したりしました。縄跳びの回数をクリアすると新しい色のカードになる挑戦カードや、頑張った時にもらえるメダルなど、いつも見えるように表示しておくことで自分や友達の頑張りが一目でわかり、やってみようという気持ちが生まれていました。西っこ掲示板で、遊びの一場面を切り取った写真にコメントをつけて、子供の育ちをお知らせしました。目に見えることを意識したことで保護者様に子供たちの様子が伝わり、子供たちの意欲につながるものがたくさんありました。

・苦心した点、反省すべき点

「幼稚園で食事の様子を見たことがないので見る機会があったらうれしい。」「料理をする機会を年長だけでなくほかのクラスにも増やしてほしい。」「親としては、どんなふうに給食を食べているのか、はさみの取り扱いは大丈夫か、危険なところはないか、ありのままの園生活が見たい。」という要望がありました。園での生活を知りたい、心配であるという保護者様の気持ちに寄り添い、要望に応えられるようにしていきたいと思っています。

<来年度の幼稚園運営について（方針、重点内容、改善策等）>

それぞれが夢中になって遊ぶ姿から、周りに目を向けて友達と一緒に遊ぶことが楽しくなった年少児。一つの遊びを繰り返すうちに、自分たちでどんどん遊びを広げて作っていくことができるようになった年中児。言葉による伝え合いで思いを出し合い、聞く経験を大切にしてきたことで、協同して遊びを楽しむようになった年長児。令和6年度、各学年の育ちがありました。令和7年度は「じゃあ、どうしようか、こうしようよ。」と自分たちで考えて、みんなで一つのことに向かっていく力を育てたいと考えています。友達の個性を認め合う仲間となり、認められることでそれぞれの思いを発して自信をもって活動できるようになる。それが大きな力となってみんなで遊びや生活を展開する。「やりたい！面白い」を追求して、共通の目的に向けて遊びを進めていく。そのような保育をしていきたいと思っています。